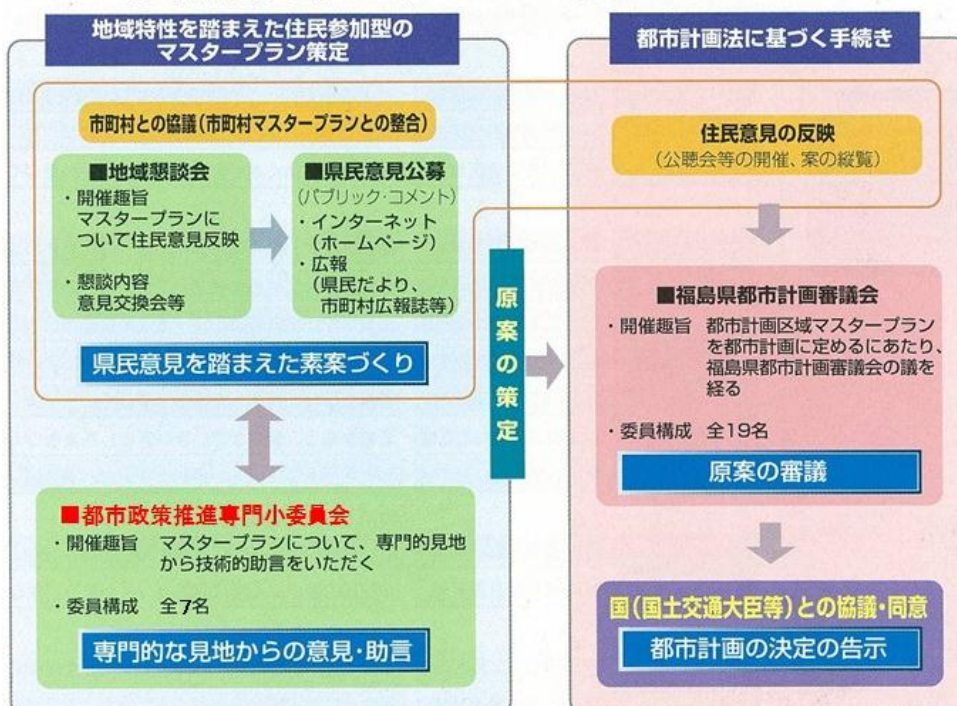


### 都市計画区域マスタープラン等の見直しについて

土木部 都市計画課

- これまでのマスタープランは平成16年に県内33区域に策定されたものです。
- 近年の少子高齢・人口減少社会の本格的な到来、市町村合併や生活圏域の広域化などの社会情勢等の変化を背景に、平成21年3月に策定した「新しい時代に対応した都市づくりビジョン」を根幹に据えて、持続可能な集約型の都市を実現するため、区域再編（33区域⇒18区域）も含め、都市計画区域マスタープランの見直しを行うこととしました。
- 平成23年3月に発生した東日本大震災及び原子力災害を受け、中通り・会津地方の地区については、震災の影響を考慮したマスタープランの見直しを実施しました。  
 なお、浜通りについては、復興まちづくりの状況を見ながら対応等について検討しています。
- 平成26年5月27日、下記の事案についての都市計画決定を行いました。
  - ・中通り・会津地方の15都市計画区域のマスタープランの見直し
  - ・二本松本宮、喜多方、会津坂下の3都市計画区域における区域再編
  - ・県北、県中、会津の都市計画区域における区域区分の見直し
- ◆ 今後、浜通りのマスタープラン見直しに向けた調査・検討等を行っていきます。

#### 都市計画区域マスタープラン策定のスキーム



# トップアスリートが福島に集結！

土木部 まちづくり推進課

6月6日(金)から6月8日(日)までの3日間、とうほう・みんなのスタジアム(県営あづま陸上競技場)において、第98回日本陸上競技選手権が開催され、日本のトップアスリートが福島に集結、熱い戦いを繰り広げました。

大会期間中は、あいにくの雨模様となってしまいましたが、スタンドの大勢の観客、そして3月に新しく設置された大型スクリーンから流れる映像が大会を大いに盛り上げました。

スタジアム前のにぎわい広場では、地元の旨いものがスタジアムを訪れた人たちの胃袋を満たし、ステージイベントではチームキビタン、福が満開ふくしま隊が舞い踊り、スタジアムの外からも大会を盛り上げてくれました。

最終日には室屋義秀さんによるアクロバット飛行も行われ、大成功のうちに幕を閉じることが出来ました。

## ■大会来場者数■

- ・6/6(金) 8,000人
- ・6/7(土) 13,500人
- ・6/8(日) 15,000人



会場となったとうほう・みんなのスタジアム



20連覇を達成した室伏選手(左)と佐藤知事(右)



大型スクリーン 映像がキレイです！



元気なふくしまをPR チームキビタン



華麗なるアクロバット飛行



福が満開ふくしま隊と室屋パイロット



## 平成 26 年度「まちづくり功労者」国土交通大臣表彰

平成26年度のまちづくり功労者として、県内から株式会社楽市白河、喜多方市仲町商店街振興組合、喜多方中央通り商店街振興組合の3団体が国土交通大臣表彰を受賞し、6/16に東京で表彰式が行われました。受賞した皆様おめでとうございます！

県内で地域づくりに取り組んでいる皆様も白河市、喜多方市へ是非お出かけいただき、どのような取組が行われているか見てみて下さい。



喜多方市仲町商店街振興組合  
長島理事長

株式会社楽市白河  
鈴木社長（左）、古川氏（右）

### 平成 26 年度まちづくり功労者の 功績概要

#### 1. 株式会社 楽市白河

～歴史・伝統・文化を活かしたまちづくりに貢献～  
JR白河駅舎の待合室をカフェとして改装した「白河駅舎活用事業」や、古くから残る蔵を活用し地場産品の販売拠点としてテナントミックスを実施した「中町蔵活用事業」、さらにはまちなか居住推進のため、良質な住宅の供給を行う「旧農協会館住宅整備事業」などを実施し、行政や地域住民と一体となり中心市街地の活性化に寄与しました。

#### 2. 喜多方市仲町商店街振興組合、喜多方市中央通り商店街振興組合

～伝統的建築物を活かしたまちの魅力向上及び観光振興に貢献～  
本地区では、伝統的な町屋型の店舗や蔵が数多く残っており、修繕等の際に良好な景観が保たれるよう共通のルールをつくり、調和のとれたまちなみづくりに取り組んでいます。「おあいなんしょでもてなす心意気」（会津の方言でおもてなしを表す言葉）を大切にし、喜多方らしい豊かな文化を継承しています。



中町蔵活用事業  
「楽蔵（らくら）」



ふれあい通り（喜多方会津坂下線）  
街並み整備

## 都市計画道路西小原北町線

# 全国街路事業コンクールで特別賞を受賞しました！

平成26年6月4日、全国街路事業促進協議会主催の第26回全国街路事業コンクールで、「都市計画道路 西小原北町線整備事業」が「特別賞」を受賞しました。

都市計画道路西小原北町線は、蔵とラーメンのまち喜多方の中心部とJR喜多方駅を結ぶ重要な幹線道路ですが、慢性的な渋滞が生じているとともに、歩道空間が狭いため、観光客等の安全な通行が確保されておらず、集客数も伸び悩んでいました。

本事業では、両側に3m～4mの歩行空間を確保し、電線共同溝を整備することにより、沿道の電柱等無くし、蔵のまちにふさわしい景観に配慮した整備を行いました。また、喜多方市は積雪地域であり、冬場には1mを超える積雪となることから、歩車道ともに無散水消雪を設置し、冬場でも安全で快適に通行ができるよう整備を行いました。

審査の結果、本事業が渋滞の緩和や安全な歩行空間の確保など交通機能を高めたほか、歴史ある街として地域特性を活かした街並みを形成したことで、観光のアピールに寄与したことなどが評価され、受賞に至りました。

### ◆「全国街路事業コンクール」とは？

全国街路事業コンクールでは、都市基盤施設としての街路を整備することにより、地域経済の発展や住民福祉の向上を図るなど、街路整備に優れた業績をあげている地方公共団体等を表彰（国土交通大臣賞1点、全国街路事業促進協議会会長賞2点、優秀賞2点、特別賞5点）しています。



### (事業概要)

事業計画 延長L=374m 幅員W=20m  
事業内容 電線共同溝 無散水消雪 歩道拡幅  
事業期間 平成15年～平成24年





<整備前>



走行車両、駐車車両により車道は混雑していました。歩道も狭く車道へのはみ出しや乱横断があり、危険な状態でした



積雪により歩道は歩けず、除雪された車道を歩行しており、危険な状態でした

<整備後>



電線類の地中化により、喜多方の原風景である飯豊連峰を見通せる魅力的な都市景観が形成されました



無散水消雪方式による歩道の整備により、積雪の多い冬場でも安心して歩行できるようになりました



ワークショップの意見を取り入れ、既存の街路樹であるイチョウやケヤキを生かした魅力的な都市景観が形成されました



ワークショップの意見を取り入れ、人が集う蔵庭（ポケットパーク）を整備しました

## 東北・歴史まちづくり担当者会議について

6月4日、5日にかけて、東北・歴史まちづくり担当者会議が白河市文化センターで開催されました。

この会議は、歴史まちづくり法に基づく歴史的風致<sup>(※)</sup>の維持・向上について学ぶ目的で開催され、会議には、東北地方の県・市町村担当職員、約100名が出席いたしました。

4日は、文化庁の田村文化財保護調整室長が「歴史文化基本構想」について、国土交通省の森口公園緑地・景観課長補佐が、「全国における歴史まちづくりの動き」について説明しました。

その後、歴史的風致維持向上計画の認定を受けた白河市、山形県鶴岡市より事例紹介がありました。

(※) 歴史的風致とは、「地域におけるその固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動とその活動が行われる歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地の環境」



国土交通省 森口公園緑地・景観課長補佐による説明



鶴岡市の事例紹介

5日は、現地視察を行い、白河市の「小峰城道場門遺構」の石垣修復や中町蔵活用事業などを、また、国見町では、国登録有形文化財「奥山家住宅」、国指定史跡「阿津賀志山防塁」を視察しました。

今後、歴史や文化を活かしたまちづくりを進める上で、大変有意義な2日間となりました。



白河市 「小峰城道場門遺構」



国見町 「阿津賀志山防塁」



# 「旧伊達郡役所周辺整備事業」竣工式

元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業（県北建設事務所）

## ■ 竣工式について

県と桑折町が一体となって平成21年度から進めてきた旧伊達郡役所周辺整備事業の竣工式が5月10日（土）に町のシンボルであり東日本大震災からの修復工事を終えた同役所前の広場で行われました。

## ■ 事業の概要

この事業では、桑折町のシンボルでランドマークとなっている国指定重要文化財「旧伊達郡役所」を真正面に眺望できる区間において、歴史的景観の改善と安全で快適な歩行及び憩いの広場空間並びに駐車スペースの整備を図っております。

県は「元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業」で電線類地下埋設工事を実施しました。また、町は国から「桑折町都市再生整備計画」の採択を受け、電線類地下埋設工事及び旧伊達郡役所へ訪れた方が休憩できる広場や駐車場の整備、歩行者が安心して散策できる歩道の整備を実施しました。



テープカットの様子



整備前



整備後

※ なお、旧伊達郡役所整備周辺事業を含めた桑折町のまちづくりについては、5月31日（土）のサタふく「ふくしま調査隊」でふくしま回廊の中の県北建設事務所で作成した「いで湯回廊」の一部の地域として紹介されました。なお、県内8エリアで作成した「ふくしま回廊」についてはまちづくり推進課まちづくり推進担当のページからご覧になれますので、是非回廊を巡ってみてはいかがでしょうか。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41055b/fukushima-all.html>

# こまなか せ 三島町の駒啼瀬歩道橋及び宮下大膳広場竣工式

元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業（会津若松建設）

※ この2事業については、7月26日（土）のサタふく「ふくしま調査隊」で紹介される予定なので、是非ご覧下さい。

## ■ 竣工式について

三島町では4月26日（土）にふくしまDCのキックオフイベントとして「三島町うまいもの市」を道の駅尾瀬街道みしま宿で実施することから同一会場にて、国道252号「駒啼瀬歩道橋」竣工式を実施しました。

また、三島町と県が町内の宮下地区に整備を進めてきたポケットパーク「宮下大膳広場」の開所式が5月11日（日）が実施されました。



駒啼瀬歩道橋竣工式の様子



宮下大膳広場で住民の方と記念撮影

## こまなか せ ■ 「駒啼瀬歩道橋」の事業の概要

国道252号は本県を代表とする河川景勝地であり、道の駅尾瀬街道みしま宿のそばにあるビューポイントにはこの風景を見ようと多くの観光客が訪れます。しかし、ビューポイントに向かう道の中で、国道252号の橋梁部に歩道がなく、通行が非常に危険な状態となっていました。

そこで、県は平成24年度から「元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業」で道路の歩道整備の一部として、ビューポイントへ向かう駒啼瀬歩道橋を整備しました。



ビューポイントから望む只見川

## ■ 「宮下大膳広場」の事業の概要

三島町と県との役割分担のもと、県は「元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業」で県道小林会津宮下停車場線沿いの宮下字館地内に約320㎡のポケットパークを整備しました。戦国時代に同地方を治めていた宮下大膳の館跡だったことから宮下大膳広場と名づけられました。6月7、8日には、宮下地区中心部を会場に開かれる住民イベント「てわっさの里まつり」のメイン会場として利用されています。



## 熱塩小、加納小パンフ手作り、東京で配布

ふくしまから はじめよう。子ども未来創造まちづくり事業（喜多方建設事務所）

### ■ “ふくしまから はじめよう。子ども未来創造まちづくり事業” について

当該事業は、ふくしまの高校生等がワークショップ等に参加し、地域の宝の発見やまちづくりについて考えることにより、地域に愛着を持ち、将来にわたって継続的に本県復興の担い手になることを期待して今年度から新たに始まった事業です。

今年度、喜多方建設事務所は喜多方市において当該事業を実施します。小学生の取り組みとして、市内5校の児童を対象に喜多方の新たな観光資源である「漢字（古代文字）」に関する講演などを実施する予定です。また、高校生の取り組みとして、喜多方桐桜高校の生徒を対象に埼玉県川越市の蔵造りのまちなみの現地調査や蔵に関するまちづくりワークショップを実施する予定です。

### ■ 熱塩小、加納小の取り組み

両校は毎年、合同で修学旅行を企画しており、今回東京都を6月25、26日の両日訪問しました。その際に当該事業の一環として、原発事故後、風評被害に苦しむ古里の現状を多くの人に知ってもらおうとパンフレットを作成し、修学旅行先で配布しました。パンフレットは両面刷りで、児童が喜多方ラーメンや蔵、温泉、花畑など同市の見どころを色鮮やかに描き解説文も加えました。また、鶴ヶ城の写真や県のマスコットキャラクター「八重たん」などもあしらい、会津地方への旅を呼びかけています。週一度、合同授業を受け二週間かけて完成させました。



新たな観光資源「漢字（古代文字）」



子ども達が作成したパンフレット

## 助成・支援制度 HP (まちづくり・地域づくり関連) ご活用下さい!

まちづくり推進課のホームページでは、地域の方々や行政の方々が活用できる各種助成・支援制度を紹介し、随時更新しております。(土木部メルマガでも配信)是非ご活用下さい!

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41055b/jigyou.html>

ホーム > 組織でさがす > まちづくり推進課 > 助成・支援制度(まちづくり・地域づくり関連)

### 助成・支援制度(まちづくり・地域づくり関連)

[Tweet](#) [印刷用ページを表示する](#) 掲載日:2014年6月2日更新

助成・支援制度(まちづくり・地域づくり関連)

下記、URLを参考にご活用下さい。随時、最新情報を更新します。

- [「平成26年度「小さな拠点」形成を核とした「ふるさと暮らし圏」の形成推進に関する調査「小さな拠点」づくりモニター調査地域の募集について」\(国土交通省 国土政策局 総合計画課\)\(平成26年6月中旬から平成26年7月上旬まで\(予定\)\)](#)
- [「公益信託うつくしま基金第12回後期\(平成26年度事業\)助成金募集について」\(特定非営利活動法人 うつくしまNPOネットワーク \)\(平成26年5月23日から平成26年6月23日まで\)](#)
- [「住民参加型まちづくりファンド支援事業 平成26年度募集について」\(一財\)民間都市開発推進機構・助成 MINTO機構\(平成26年5月20日から平成26年8月29日まで\)](#)
- [「ふくしま・地域産業6次化復興支援事業の募集について」\(ふくしま・地域産業6次化推進協議会\(福島県農産物流通課内\)\)\(平成26年5月20日から平成26年10月31日まで\)](#)
- [「平成26年度NPO等による文化財建造物の管理活用事業の募集について」\(文化庁 文化財部\)\(平成26年5月19日から平成26年5月23日まで\)](#)
- [「ジャパン・ソサエティ 京日本大震災復興基金\(ローズファンド\)第五期募集について」\(一般財団法人 地域創造基金みやぎ\)\(平成26年5月1日から平成26年5月30日まで\)](#)
- [「ふくしまの産みPR支援事業」<民間団体事業>第2期募集について\(農林水産部 農産物流課\)\(平成26年6月2日から平成26年6月16日まで\)](#)
- [「商店街活性化関連事業」について\(商工労働部 商業まちづくり課\)](#)
- [「地域づくり総合支援事業\(サポート事業\)」について\(企画調整部 地域振興課\)](#)
- [「地域づくり活動支援事業」について\(公財\)福島県民間整理協会](#)

このページに関するお問い合わせ先

まちづくり推進課 まちづくり推進担当  
〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16 Tel:024-521-7511 Fax:024-521-7956 [お問い合わせはこちら](#)

### 土木部メールマガジン登録随時受付中!!!

福島県土木部では、土木部メールマガジンとして、定期的に土木部の取り組みや情報を発信しております。まちづくり瓦版、地域のイベント情報も合わせて発信しております。

土木部メールマガジン(無料)の登録をご希望される方



- 1 土木部メルマガ希望または解除
- 2 お住まいの市町村

1, 2を記入の上、  
[doboku\\_mailmagazine@pref.fukushima.lg.jp](mailto:doboku_mailmagazine@pref.fukushima.lg.jp)  
まで希望する旨ご連絡下さい。

【発行元】 福島県土木部まちづくり推進課  
〒960-8670(住所記載不要です)  
TEL 024-521-7511  
FAX 024-521-7956  
e-mail [machizukuri@pref.fukushima.lg.jp](mailto:machizukuri@pref.fukushima.lg.jp)  
URL <http://www.pref.fukushima.jp/machi/>